

## 教員紹介

①担当科目 ②現職( )内は前職など ③学位 ④主な著書

谷口 隆一郎 タニグチ リュウイチロウ 教授、政治政策学専攻科長

- ①デモクラシー・人権研究／公共哲学研究／公共哲学演習I・II
- ②聖学院大学政治経済学部部長、教授
- ③Ph.D.(アムステルダム自由大学)
- ④「Liberalism and Its Metaphysical Difference:A Critique of the Ground of F.A. von Hayek's Political Philosophy(VU University Press,1998)、『コミュニティ政策研究の課題』(編・共著、三恵社、2010年)、『横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて』(春風社、2015年)

石川 裕一郎 イシカワ ユウイチロウ 教授

- ①憲法研究
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③修士(法学)(早稲田大学)
- ④「国家の論理といのちの倫理:現代社会の共同幻想と聖書の読み直し」(共著、新教出版社、2014年)、『憲法理論叢書②:憲法と時代』(共著、敬文堂、2014年)、『憲法未来予想図:16のストーリーと48のキーワードで学ぶ』(共著、現代人文社、2014年)、『リアル憲法学[第2版]』(共著、法律文化社、2013年)

柴田 武男 シバタ タケオ 教授

- ①経済学研究／企業財務論研究／経済学演習I・II
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ④「企業は環境を守れるか」(岩波書店)、『ソーシャル・インベストメントとは何か』(共著、日本経済評論社)、『現代証券事典』(共著、日経)

平 修久 タイラ ノブヒサ 教授

- ①まちづくり論研究／まちづくり論演習I・II
- ②聖学院大学副学長、聖学院大学政治経済学部教授
- ③Ph.D.
- ④「もう一つのスマートグロース」(三恵社)、『危機発生!そのとき地域はどう動く』(共著、第一法規)、『地域社会に求められる人口減少対策』(聖学院大学出版会)、『情報化で蘇る都市』(共著、ビジネス教育出版社)、『首都圏自治体の攻防』、『成熟都市東京のゆくえ』(共著、ぎょうせい)

土方 透 ヒジカタ トオル 教授

- ①現代社会理論研究
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③博士(社会学)
- ④「法という現象—実定法の社会学的解明」(ミネルヴァ書房)、『宗教システム／政治システム』(編著、新泉社)、『現代社会におけるポスト合理性の問題』(編著、聖学院大学出版会)、『リスク』(共編著、新泉社)、『Das positive Recht als soziales Phänomen, Duncker & Humblot, Riskante Strategien (Hg.) Westdeutscher Verlag. ほか

宮本 悟 ミヤモト サトル 教授

- ①政治学研究
- ②聖学院大学政治経済学部教授
- ③博士(政治学)
- ④「北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか?—政軍関係論で読み解く軍統制と対外軍事支援」(潮書房光人社、2013年)、『Japanese and Korean Politics: Alone and Apart from Each Other』(共著、Palgrave Macmillan, 2015)、『「新しい戦争」とは何か-方法と戦略-』(共著、ミネルヴァ書房、2016年)。

八木 規子 ヤギ ノリコ 准教授

- ①組織行動論研究
- ②聖学院大学政治経済学部准教授
- ③Ph.D. (University of Kansas)
- ④Boundary work: An interpretive ethnographic perspective on negotiating and leveraging cross-cultural identity(共著、2011年)、『Journal of International Business Studies, 42 (5), 629-653. Stages and Paths of Firm Internationalization: Testing the Value Chain Internationalization Framework(共著、2013年)、『Journal of Comparative International Management Vol. 16, No. 1, pp. 3-22.

金子 毅 カネコ タケシ 准教授

- ①経営文化論
- ②聖学院大学政治経済学部准教授
- ③博士(乙・人間環境学)(九州大学)
- ④「八幡製鉄所・職工たちの社会史」(草風館、2003年)、『「安全第一」の社会史』(社会評論社、2011)、『産業安全活動二つの源流—Think Safety First again』(共著、化学工業日報社、2016年)、『会社のなかの宗教—経営人類学の視点』(共著、東方出版、2009年)

阿久戸 光晴 アクド ミツハル 客員教授

- ①デモクラシー・人権研究
- ②聖学院大学名誉教授(学校法人聖学院前理事長・院長、聖学院大学元学長)
- ④「近代デモクラシー思想の根源」『新しき生』(聖学院ゼネラルサービス)、『ウェーバー・トレルチ・イエリネック』『神を仰ぎ、人に仕う』『教育の神学第3集』(共著、聖学院大学出版会)

木村 裕二 キムラ ユウジ 特任講師

- ①民事法と実務A／民事法と実務B
- ②元弁護士
- ④「ヤミ金融」(花伝社)、『Q&A改正貸金業法・出資法・利息制限法』(共編著、三省堂)

大塚 健司 オオツカ ケンジ 非常勤講師

- ①埼玉地域政策研究
- ②聖学院大学政治経済学部講師

児玉 博昭 コダマ ヒロアキ 非常勤講師

- ①公共政策研究
- ②白鷺大学法学部教授
- ③修士(法学)

## 教員紹介

①担当科目 ②現職( )内は前職など ③学位 ④主な著書

佐藤 一子 サトウ カツコ 非常勤講師

- ①地域文化論
- ②東京大学名誉教授
- ③博士(教育学)
- ④「生涯学習と社会参加」(東京大学出版会、1998年)、「NPOの教育力」(編著、東京大学出版会、2004年)、「現代社会教育学」(東洋館出版社、2006年)、「イタリア学習社会の歴史像」(東京大学出版会、2010年)、「地域学習の創造」(東京大学出版会、2015年)など

## ▶ 税法分野 教員のご紹介

三名の国税庁・税務大学校教授経験者が  
院生の希望テーマに沿って指導します



特任教授 [専門分野]  
法人税法・国際課税法  
**吉川 保弘**  
[担当科目]  
租税法研究A / 租税法A演習I・II /  
総合化学特殊研究

東京国税局調査第一部特官付調査官・主査、国際情報専門官(移転価格調査担当)、研究部教授、調査情報部門統括官(移転価格調査担当)、課税第一部主任訟務官(国際課税班担当)、税務大学校研究部主任教授、四谷税務署長を経て、2015年4月より現職。

[著書]『詳解国際税務』(清文社)、『国際課税質疑応答集』(法令出版)、『非居住者税制と源泉徴収質疑応答集【100問】』(法令出版)。その他国税庁大論叢等、論文多数。

[受賞歴] 1985年:日税研究賞受賞「外税控除制度とタックスヘイブン制度を巡る諸問題」1994年:日税研究賞受賞「トランスファープライジングと我が国の規制税制」



特任教授 [専門分野]  
法人税法・消費税法・  
財務諸表論  
**野田 扇三郎**  
[担当科目]  
租税法研究B / 租税法B演習I・II

東京国税局調査部(主査、国際専門官、調査総括課長補佐)、税務大学校研究部教授、調査第一部特別国税調査官、調査第二部統括国税調査官、調査第二部調査総括課長、葛飾税務署長を経て、2016年4月より現職。

[著書]『税理士必携 誤りやすい申告税務詳解Q&A』(吉川保弘監修 清文社)、『社長! その税務対策は大丈夫ですか?一節税は当然 行過ぎは危険! アクセル全開は 知らずスピード違反に!』(清文社)、『Q&A 法人税<微妙・複雑・難解>事例の税務処理判断(共著、清文社)』。



客員教授 [専門分野]  
所得税法・租税手続法  
**佐藤 謙一**  
[担当科目]  
租税法研究C / 租税法C演習I・II

東京国税局課税第一部審理課課長補佐、税務大学校研究部教授、課税第一部国税訟務官室国税訟務官・主任国税訟務官、総務部主任税務相談官(審理担当)、鎌倉税務署長などを経て、2015年10月國學院大学大学院講師、2016年4月同大学特任教授、同月聖学院大学大学院客員教授

[著作]「図解 国税通則法(平成28年版)」(大蔵財務協会 共著。同書は平成22年から同24年を除き毎年発行)、「現代裁判法体系29 租税訴訟」(新日本法規 担当部分執筆)。最近の論文に「白色申告に対する更正の理由附記をめぐる諸問題—所得税に係る不利益処分等を中心として—」(日税研 懸賞論文)などがある。

## ▶ 修了生紹介



充実の研究環境、  
手厚い論文指導体制

**藏本 暁**

聖学院大学大学院を選択した理由は、税法指導が複数人体制で行われる安心感に加え、1年次の春学期に、実際に各教授の基礎講義を受講した上で、自分の研究分野と最も合致する教授を演習及び論文担当教員として希望する事が可能であったからです。講義は税法分野のみならず政治学や経済学等、各研究分野の権威である教授陣により展開され、論文執筆の基本である問題意識の発見から解答に至るまでの論理的思考力が身に付きます。修士論文は担当教員の豊富な知見に基づく確かな個別指導に加え、年に3回設けられている論文の進捗状況発表の場に於いて、出席者の方々から貴重な助言を頂ける機会もあり、日々確かな手応えを得ながら執筆作業に取組む事が出来ました。



租税法の研究と税理士試験対策  
の両立を果たせました

**宮内 俊輔**

私が聖学院大学大学院を選んだ理由は、優秀な教員が揃っているからです。大学院では、租税法をはじめとする様々な分野の授業を受けることができますが、どの授業も質が高く大変充実したものでした。修士論文の執筆に当たっては、教員が丁寧に指導していただき、安心して論文の作成を行うことができます。また、大学院に通っている学生はほとんどが税理士試験受験生や社会人なのですが、それらについても教員が配慮してくれるので、税理士試験や仕事との両立も可能です。私自身、税理士試験受験生で入学当初は合格科目が0科目の状態だったのですが、在学中に3科目合格することができました。租税法の研究と税理士試験との両立を果たすことができ、聖学院大学大学院にはとても感謝しています。

### 宮内俊輔さん 税理士試験合格体験記

- 大学院在学中に税理士試験受験3科目合格!
- 修士論文で試験科目免除申請
- 2年間一資格申請取得最短記録!!

#### 宮内さんの税理士試験合格に向けたプロセス

2014年9月	3科目勉強開始
2015年4月	聖学院大学大学院 政治政策研究科入学
2015年8月	3科目簿記論、財務諸表論、国税徴収法を受験し合格
2017年3月	大学院卒業。3月末税理士試験科目免除申請 8月免除2科目免除通知予定

聖学院大学大学院に通いながら3科目合格にむけて、1日7時間から8時間を勉強時間に振り分け、地元の予備校にも通い勉強しました。大学院の講義レポートの作成計画を綿密に立てて、予備校の教材を活用し、税理士試験の勉強時間をできるだけ多く確保することが合格への第一の秘訣です。

また、論文指導においても教授が丁寧に指導をしてくださるので、安心して論文作成ができました。

聖学院大学大学院には、税法を勉強できる環境が整えられています。講師の皆さんも税理士試験との両立に配慮して下さいます。しかし何よりも大切なのは、最後まで諦めない気持ちです。